

左の図から次のことを考えてみよう！

　　①宇都宮と彦根ではどちらのゆれが大きいか？

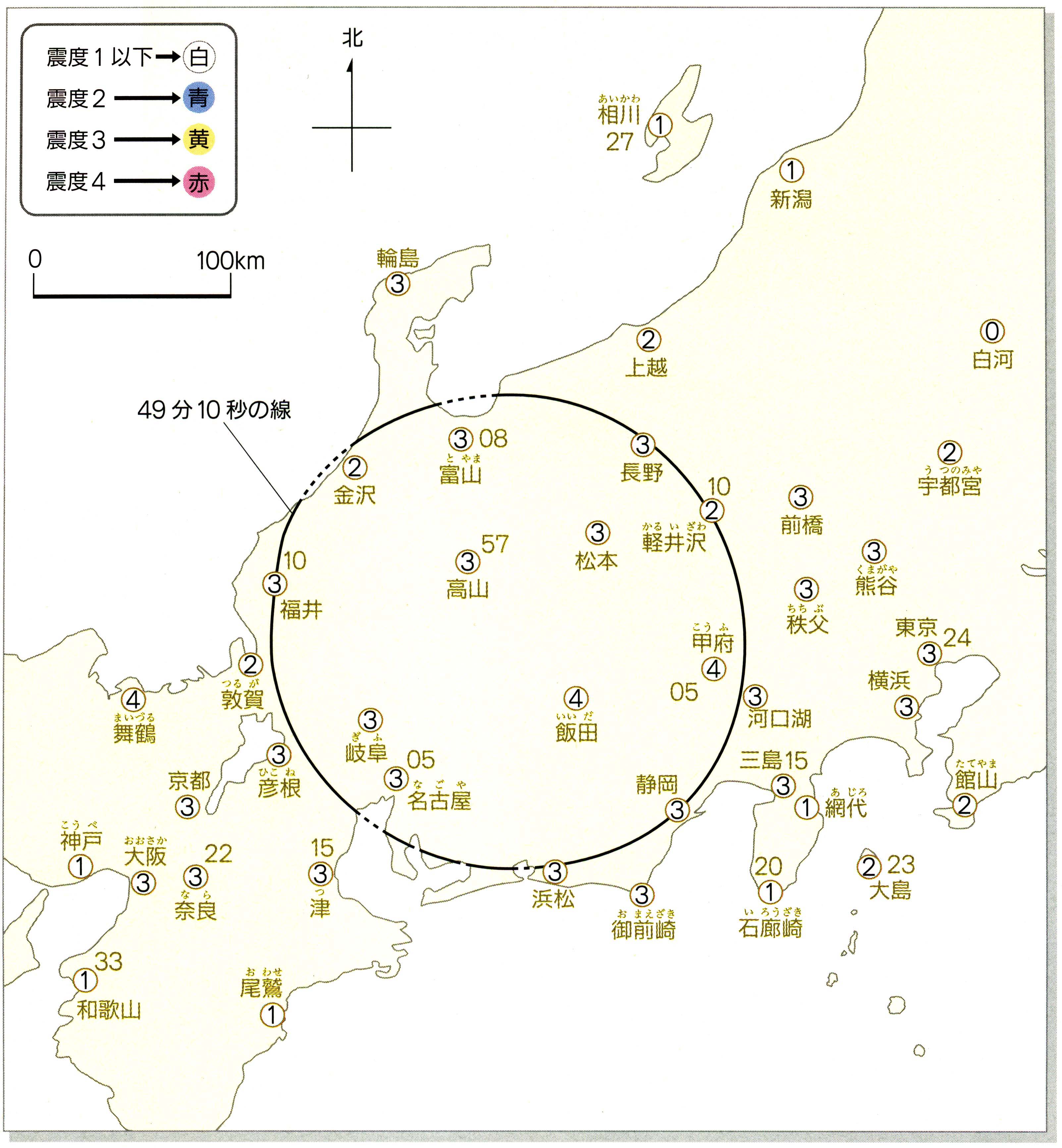
　　　　　　→（　　　　　　彦根　　　）

　　②初期微動継続時間と震源からの距離には

　　　どのような関係があるか？

　　　→（　　距離が遠くなると時間は長くなる　　　）

①図中の各地の震度を色分けする。



②下図の奈良などの例にならって

初期微動の始まりの時刻（秒の

位だけ）を図中に記入する。

※教科書Ｐ６６を見ること。

③初期微動の始まりの時刻が同じ

地点を、図中の**49分10秒の**

**線**のように５秒ごとになめらか

な線で結ぶ。

①上の実験で描いた円から、震央の

位置を推測して×印を記入する。

②この地震が発生したのはおよそ

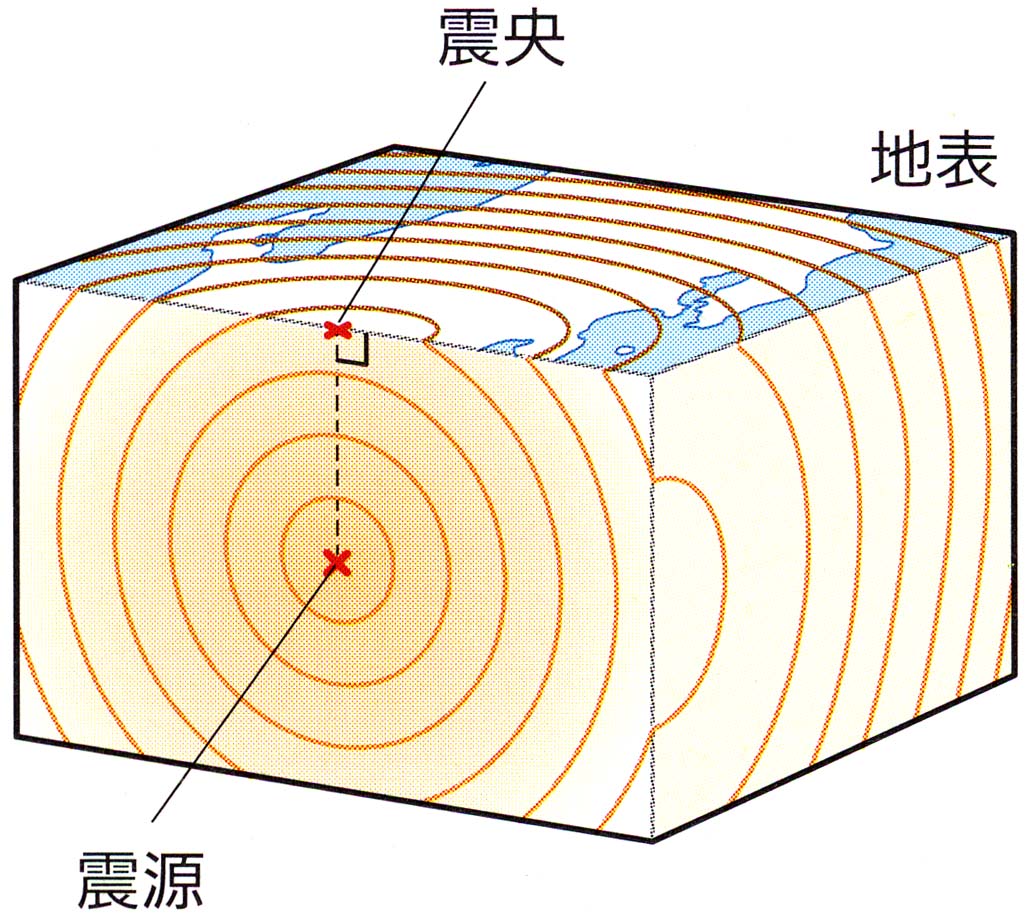
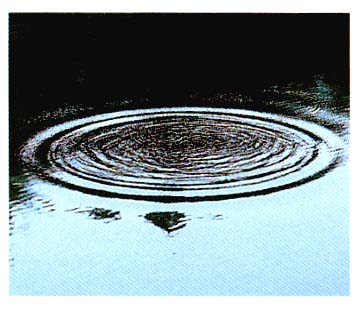
　いつごろか？

　　　時　　分　　秒

③震央から遠ざかると、ゆれ初めの

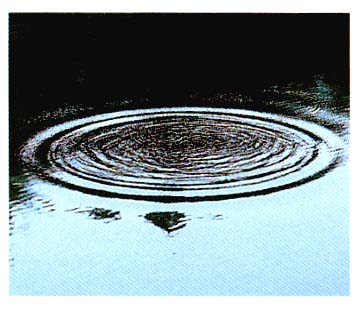
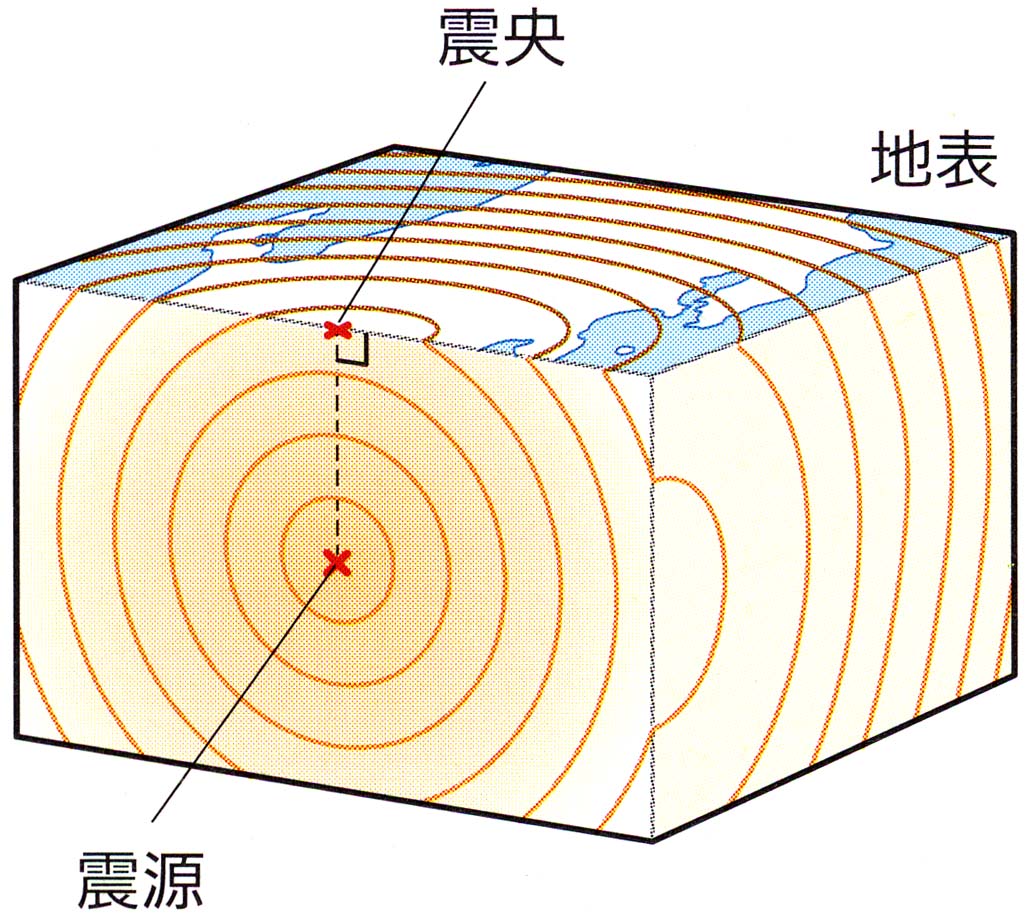
　時間や震度はどのように変化して

いるか？

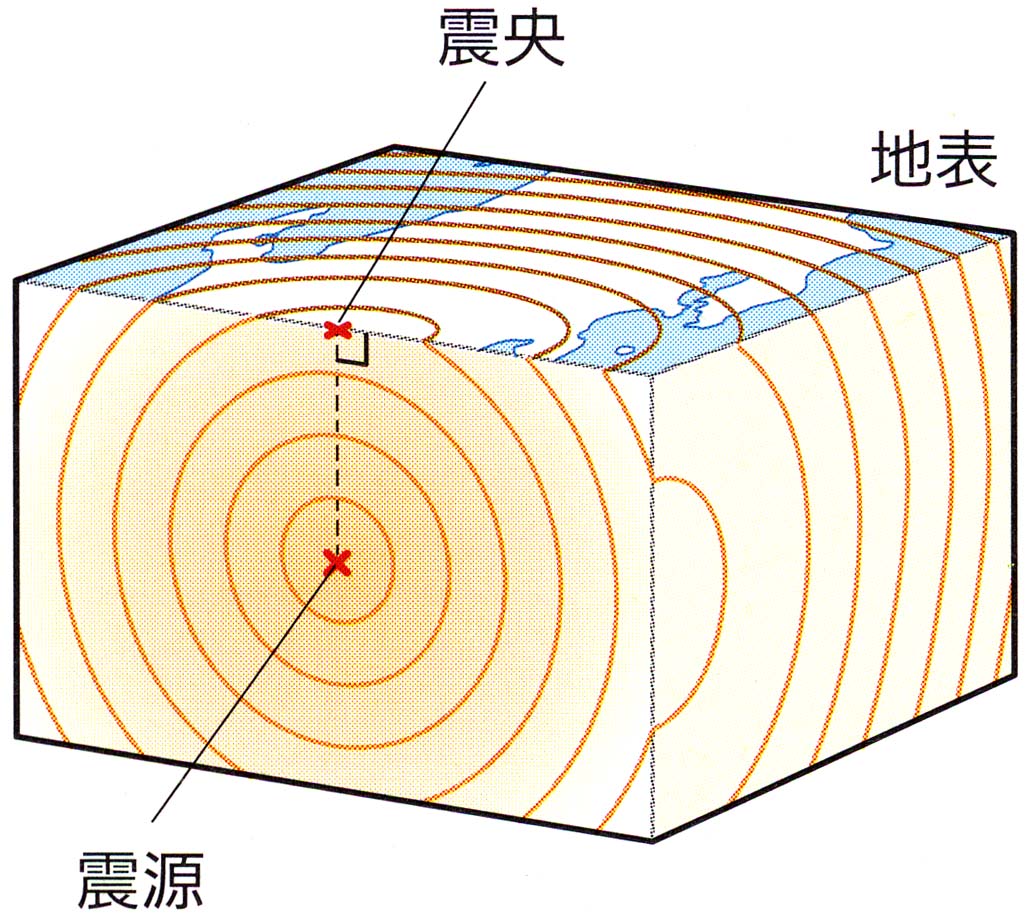
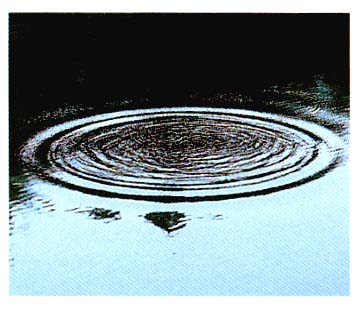


④上の実験で震央からの距離と震度がおかしいところがある。これはなぜか？

　その周辺の地面（地盤という）の（　　かたさ　　）がちがうから。　（　やわらかい　）→良く揺れる



右の図のように水面に石を落とすと波ができる。



地震の場合もこれといっしょ。

（　震源　）を中心とした円のように伝わっていく。

波は遠くなるにしたがって（　弱　　　　くなる　）

２年　　組　　番　氏名